

令和 5年 1月16日 (月)

社会福祉法人 正仁会
なごみの郷 関係各位

社会福祉法人 正仁会
業務執行理事 松林克典

**新型コロナウイルス感染者、『グループホームなごみの郷 可部』のその後、
及び 特養 なごみの郷における新たな感染者の発生について
(コロナ関連 第二十報)**

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和5年もどうぞよろしくお願い申し上げます

さて、当法人では昨年末より『グループホームなごみの郷 可部』における新型コロナウイルスによるクラスター感染の動向をご案内して参りました。結果として入居利用者全員(18名)の感染にまで及び、1月21日(土)をもって一通り収束の目処が立つ予定です。

しかし、本年1月11日(水)、『特養なごみの郷』において事情により特別面会を行っていたご家族を根源として新規に利用者一名の新型コロナウイルス陽性者が発生したため、当該利用者を速やかに隔離し治療を行っておりました。その後、同一フロアを担当する職員一名から1月15日(日)に有症状の上、抗原検査陽性の者が出ました。現在、当該職員と接触した利用者が複数名に渡るため、担当するフロアを感染区域と定めて感染対策を行っているところです。

また、ショートステイの受入れに関しても当該フロアで受け入れる予定であった利用者様には、受入れ中止をお願いしているところであり、1月22日(日)までは同様の措置を講じます。

その他の利用者様は大きな体調変化等はございません。この後も保健センター及び医療機関とは連携をとりながら対応して参ります。

関係各位におかれましては、たいへんなご心配とご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『グループホームなごみの郷 可部』 25名 (利用者18名、職員7名)

『特養 なごみの郷』 2名 (利用者1名、職員1名)

「令和5年1月16日 時点」